令和７年度奈良市総合防災訓練実施される



2025年11月９日、「奈良市を震源とする最大震度７（奈良盆地東縁断層帯）の地震発生」を想定し、東登美ヶ丘小学校において総合防災訓練が行われた。

あいにくの悪天候により、一部の訓練内容が変更となるも、運動場に建物倒壊現場が設定され、建物内に閉じ込められた要救助者の救出、複数個所で発生した傷病者のトリアージや現場救護・搬送等について消防局本部指揮隊の指揮のもと、消防局・消防団・DMAT・陸上自衛隊が相互に連携しつつ、本番さながらの活動訓練が実施された。

指定避難所が開設された体育館では、傷病者のトリアージの実施、また、被災者や外国人を含む避難者の受け入れについて医療アセスメントチームによる救護の訓練が実施された。



今回の訓練の目的は、奈良市危機管理課主催により、災害対策基本法及び奈良市地域防災計画に基づき、市民・自主防災防犯組織・防災関係機関・事業者及び市職員による総合防災訓練を実施することで、市民の防災・減災意識の高揚、関係機関等との連携強化及び災害対策本部の災害対応能力の向上を図るものであり、市全体の防災力を高め、災害に強いまちづくりを目指したものである。

我が分団　自慢の「人」中部方面隊

春日分団　部長　清水　大二郎



僕は、ならまちで八百屋をしています。
消防団は、平成14年(2002年)から基本団員として活動しています。

お店に来られるお客さんは、ほとんどが女性です。逆に、消防団活動は男ばっかりです。なので、普段出来ない話とかで盛り上がったりして。それに、消防団は異業種の集まりなので、いろいろ知らない話とか聞けるのが、結構楽しいですね。

たまに、夜に会議があるんですけど、毎朝２時に起きてるので、会議の途中に寝てしまいます。「大ちゃん、終わったから帰るでぇ！」って、起こされて帰る事も、よくあります。

こんな頼りない僕ですが、今は筆頭部長として、みんなに支えてもらって、なんとかやってます。

分団のみなさん、ありがとう！！

令和８年 出初式開催 ～ ロート奈良鴻ノ池パーク ～





2026年１月10日、令和８年消防出初式が行われました。

奈良市消防団広報指導分団による軽可搬ポンプ操法の披露でオープニングを飾り、指揮者の「操作始め」の号令と同時に、各隊員の素早く正確な動作で火点に向かって放水を行いました。

次に消防局・消防団による、車両行進が行われ、観客からは「格好良い」との声が上がりました。



車両行進に続き「災害につよい奈良をめざして」のスローガンを掲げながら消防職員・消防団員・女性防災クラブが分列行進を行いました。行進をした消防団員の中には「皆で行進をすると、決意を新たに今年も頑張ろうという気持ちになる」と語る団員も。

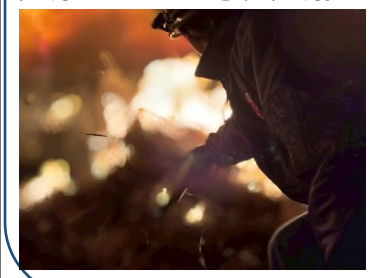
鴻ノ池湖畔での放水演習では、快晴の空に向かって、複数のポンプから一斉に放水される水の量や勢いが圧巻で、キラキラと光る水の粒を感じることができました。

ロートアリーナへ場所を移しての式典では、各表彰が行われ、式典会場の外では女性防災クラブの皆さんによる豚汁の振る舞いや、地元野菜の購入を楽しむ市民の姿もありました。

若草山焼き ～ 古都奈良を彩る 冬の伝統行事～

2026年１月24日(土)若草山焼きが開催されました。

消防団出発式、約300人の消防団員は分団ごとに決められた担当場所へと向かい点火まで待機。野上神社での祭礼後、御神火を山麓中央の大かがり火へと移し、その御神火を松明へといただき、松明担当が点火ポイントへと運びます。



寒い夜空に大花火が打ち上げられ、柳生分団ラッパ隊の合図とともに待機していた団員により一斉に点火され火は山肌を一気に駆け上がり、真っ暗だった周りが一斉にオレンジ色に染まり、素晴らしい景色となりました。

全ての点火、警戒、消火活動の終了後、分団ごとに下山し、団長へ終了報告を行ないました。

今年も全団員ケガも無く無事に活動を終えることができました。



編集後記

全国女性消防団活性化長崎大会に参加してきました。全国の女性消防団員が集まり、活動事例発表や防災啓発劇が行われ、情報交流会では防災活動の工夫やアイデアなど、色々な話を聞くことができ、私たちもより一層、防災意識を高めていきたいです。